

臨床推論の構築

責任者名：本吉 満(歯科矯正学)

学期：後期

対象学年：5年

授業形式等：演習

◆担当教員

本吉 満(歯科矯正学 教授)

小森谷 康司(歯科保存学Ⅰ 助教)

清水 康平(歯科保存学Ⅱ 准教授)

蓮池 聡(歯科保存学Ⅲ 助教)

紙本 篤(総合歯科学 准教授)

高津 匡樹(歯科補綴学Ⅰ 准教授)

関 啓介(総合歯科学 専任講師)

関野 麗子(歯科麻酔学 助教)

篠崎 貴弘(口腔診断学 専任講師)

生木 俊輔(口腔外科学Ⅱ 専任講師)

外木 守雄(口腔外科学Ⅰ 教授)

篠塚 啓二(口腔外科学Ⅰ 助教)

馬谷原 琴枝(歯科矯正学 准教授)

阿部 仁子(摂食機能療法学 准教授)

白川 哲夫(小児歯科学 教授)

新井 嘉則(歯科放射線学 教授)

澤田 久仁彦(歯科放射線学 専任講師)

江島 堅一郎(歯科放射線学 専任講師)

尾崎 哲則(医療人間科学 教授)

中島 一郎(医療人間科学 教授)

◆一般目標 (GIO)

症例ごとのクリニカルパスに沿った治療を行うために、各症例の症状と所見からその症例における病態の診断と治療計画を導き出す能力と、治療を遂行する能力を身につける。

◆到達目標 (SBOs)

1. 医療面接の知識や患者および種々の情報源から、必要な患者情報を収集できる。
2. 各症例の症状のメカニズムに関する知識やその症状から診断を導き出すことができる。
3. 症例ごとに適した検査、クリニカルパスに沿った治療計画を立案することができる。
4. 治療方針に基づいて問題を解決するための的確な診療手順、使用する器具や器材および患者管理について述べるることができる。

◆評価方法

2回の平常試験で評価する(100%)。

平常試験の試験解説を行うことで学生へフィードバックを行う。

演習教科のため出席を前提とする。遅刻、欠席（忌引、公欠を除く）はマイナス評価とし、減点する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
本吉 満	月曜日 17:00~18:00	motoyoshi.mitsuru@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

講義・演習

診断に要する基礎的知識の講義と、診断と治療計画の立案する演習を行う。

平常試験を実施し、次の講義にて解説を実施する。

【実務経験】本吉満：日本大学歯学部付属歯科病院での臨床経験を交えつつ病態の診断と治療計画を考える場を提供したいと考えています。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
参考図書	Case Based Review 画像診断に強くなる顎口腔領域の疾患	金田隆	末長書店	2017

◆DP・CP

[DP-3]

コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[CP-3]幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP-4]歯科医学の基礎知識を体系的に習得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

関連する教科の教科書などを読み、これまでに学修した内容を復習するとともに、蓄積した知識、理解度の再確認をしておくこと。

◆準備学習時間

授業時間半分相当を充てて予習あるいは復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

歯科学統合演習IV（4年通年）

顎機能治療学（4年前期）

歯内療法学（4年前期）

歯周病学（4年前期）

口腔外科手術と顎変形症（4年前期）

歯科矯正学（4年前期）

小児の歯科診療の基礎（3年後期）

歯科放射線学総論（3年前期）

口腔診断学（4年後期）

口腔外科治療の実際（4年後期）

◆予定表

注意事項：授業には、自分がこれまでに活用した教科書、参考書あるいは配布資料などを持参のうえ出席すること。

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		7.31	5	画像診断 1) 顎骨・口腔領域の疾患Ⅱ	・顎骨・口腔領域に発生する腫瘍・炎症の画像診断について理解する。	澤田 久仁彦	A-2 医学知識と問題対応能力
2		7.31	6	保存修復 1) 歯の硬組織疾患の処置方針	・歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症，咬耗，摩耗等），歯の変色，象牙質知覚過敏症を含む）の処置方針を説明できる。	小森谷 康司	A-2 医学知識と問題対応能力
3		7.31	7	保存修復 2) 歯の硬組織疾患の処置の実際	・歯の硬組織疾患（tooth wearを含む）に対するコンポジットレジン修復の臨床術式を説明できる。	小森谷 康司	A-2 医学知識と問題対応能力
4		8.7	5	画像診断 2) 唾液腺・頸部および軟組織の疾患	・唾液腺疾患と軟組織に発生する疾患の画像診断について理解する。	江島 堅一郎	A-2 医学知識と問題対応能力
5		8.7	6	歯内療法 1) 可逆性歯髄炎の診断と処置方針 2) 不可逆性歯髄炎の診断と処置方針	・現症の診査法を説明できる。 ・可逆性歯髄炎と不可逆性歯髄炎の違いを述べることができる。 ・可逆性歯髄炎と不可逆性歯髄炎の治療法を述べることができる。	清水 康平	A-2 医学知識と問題対応能力
6		8.7	7	歯内療法 3) 根尖性歯周炎の診断と処置方針 4) 外科的歯内療法の適応症と術式	・根尖性歯周炎の診査・診断法について説明できる。 ・根尖性歯周炎の治療法について述べることができる。 ・外科的歯内療法について説明できる。 ・外科的歯内療法の適応症と処置方針について説明できる。	清水 康平	A-2 医学知識と問題対応能力

7		8.21	5	画像診断 3) 外傷・上顎洞およびその他の疾患	・顎骨領域の外傷、上顎洞およびその他の疾患の画像診断について理解する。	澤田 久仁彦	A-2 医学知識と問題対応能力
8		8.21	6	歯周病 1) 歯周病の病態 2) 歯周病の検査・診断	・治療計画の立案に必要な歯周病の病因・病態を説明できる。 ・歯周病の診断に必要な検査項目を述べることができる。	蓮池 聡	A-2 医学知識と問題対応能力
9		8.21	7	歯周病 3) 歯周病治療の実際	・歯周治療の流れと各処置の手技を理解し、治療計画を立案することができる。 ・歯周治療の流れと各処置の手技を理解し、治療計画を立案することができる。	蓮池 聡	A-2 医学知識と問題対応能力
10		8.28	7	地域医療 1 1) 地域包括ケアシステム	・地域包括ケアの意義・概要について説明できる。 ・地域包括支援センターについて概説できる。 ・地域包括ケアにおける歯科医療の在り方について説明できる。	尾崎 哲則	A-2 医学知識と問題対応能力
11		9.2	4	顎関節 1) 顎関節症の診察・診断	・顎関節症症例の診察、検査について説明できる。 ・病態診断と原因の推測について説明できる。 ・適切な治療法の選択について説明できる。	高津 匡樹	A-2 医学知識と問題対応能力
12		9.2	5	口腔外科 1) 外傷と先天異常	・上下顎骨骨折の種類について確認し、その好発部位・臨床症状について述べることができる。 ・奇形・変形の種類を再確認し、それぞれの治療法を解説することができる。	生木 俊輔	A-2 医学知識と問題対応能力
13		9.2	6	口腔外科 2) 口腔粘膜疾患	・口腔粘膜に発生する疾患について述べることができる。	篠塚 啓二	A-2 医学知識と問題対応能力

				3) 唾液腺疾患	・唾液腺に発生する疾患を述べる ことができる。		力
14		9.2	7	口腔外科 4) 顎変形症	・顎変形症に対する手術計画立案と 術式について理解する。	外木 守雄 篠塚 啓二	A-2 医学知識 と問題対応能 力
15		9.9	6	インプラント 1) インプラント 治療の概要 2) インプラント 治療の適応症例	・口腔インプラントを用いた欠損治 療の概要を説明できる。 ・口腔インプラント治療の適応症例 や検査項目を説明できる。	関 啓介	A-2 医学知識 と問題対応能 力
16		9.9	7	インプラント 3) 検査・診断と治 療計画	・口腔インプラント症例の診査・診 断を適切に行うことができる。 ・治療計画を立案できる。 ・患者に治療計画並びに治療効果 を説明できる。	関 啓介	A-2 医学知識 と問題対応能 力
17		9.16	6	歯科麻酔 歯科診療に必要な 全身管理 1) バイタルサイン 2) 麻酔上の問題点 と全身管理方法	・バイタルサインについて説明でき る。 ・麻酔上の問題点と全身管理方法に ついて説明できる。	関野 麗子	A-2 医学知識 と問題対応能 力
18		9.16	7	ペイン	・神経障害性疼痛について説明でき る。 ・三叉神経痛の特徴について述べる ことができる。 ・三叉神経痛・帯状疱疹・外傷性三 叉神経障害（症例提示）に対して必 要な検査項目について説明できる。 ・三叉神経痛・帯状疱疹を症状から 診断し、治療法を説明できる。 ・外傷性三叉神経障害（神経障害性 疼痛）を病歴と症状から診断し、必 要な検査と治療法を説明できる。	篠崎 貴弘	A-2 医学知識 と問題対応能 力
19		9.23	6	歯科矯正 1) 不正咬合の原 因と診査・診断	・不正咬合の病因・病態を述べるこ とができる。 ・不正咬合の診査・診断を説明でき る。	馬谷原 琴 枝	A-2 医学知識 と問題対応能 力

20		9.23	7	<p>歯科矯正</p> <p>2) 矯正治療の実際</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・診断に基づいた歯科矯正治療の流れを述べることができる。 ・各種矯正装置の適応症を述べることができる。 	馬谷原 琴枝	A-2 医学知識と問題対応能力
21		9.30	6	<p>高齢者・摂食機能障害</p> <p>1) 摂食機能療法(総論)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食機能療法の基本的な理念とその実際を述べるができる。 ・摂食機能療法の診査・診断, 対応について述べるができる。 	阿部 仁子	A-2 医学知識と問題対応能力 E-5-1)高齢者の歯科治療
22		9.30	7	<p>高齢者・摂食機能障害</p> <p>1) 摂食機能療法(各論)</p> <p>2) 口腔機能低下症</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔機能低下症について述べるができる。 	阿部 仁子	A-2 医学知識と問題対応能力 E-5-1)高齢者の歯科治療
23		10.7	4	<p>小児歯科</p> <p>1) 小児期における歯の外傷の診断、治療</p> <p>2) 乳歯列期, 混合歯列期の咬合発育診断</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳歯および幼若永久歯の外傷の発生状況と診察時の留意点を述べるができる。 ・受傷歯の病態と診断方法を述べることができる。 ・受傷歯の管理計画を述べることができる。 ・受傷歯の治療方法と起こり得る予後を述べることができる。 ・外傷歯の予後が咬合に及ぼす影響について説明できる。 	白川 哲夫	A-2 医学知識と問題対応能力 E-5-1)高齢者の歯科治療
24		10.7	5	<p>障害者歯科</p> <p>1) スペシャルニーズのある小児の歯科治療</p> <p>2) 成人障害者の歯科治療</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・知的能力障害のある小児および成人の歯科治療の留意点を説明できる。 ・発達障害児に対する歯科治療の留意点を説明できる。 ・有病小児の歯科治療にあたっての留意点を説明できる。 	白川 哲夫	A-2 医学知識と問題対応能力
25		10.7	6	<p>地域医療 2</p> <p>2) 地域での医療介護連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・病診連携の仕組みを説明できる。 ・地域での医科歯科連携を説明でき 	尾崎 哲則	A-2 医学知識と問題対応能力

					<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周術期等での口腔機能管理について説明できる。 ・ 訪問診療の意義を説明できる。 		
26		10.7	7	<p>地域医療 3</p> <p>3) 高齢者の生理的・病理的变化や発達心理学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢期の全身・口腔機能変化を説明できる。 ・ 認知症の原因と症状について説明できる。 ・ 高齢者の社会的発達面での課題を説明できる。 ・ 高齢者に対する歯科診療時の対応について説明できる。 	中島 一郎	A-2 医学知識と問題対応能力
27		10.28	4	平常試験 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床推論の構築の内容について試験を行い、習熟度を評価する。 	高津 匡樹 馬谷原 琴枝	A-2 医学知識と問題対応能力
28		10.28	5	平常試験 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床推論の構築の内容について試験を行い、習熟度を評価する。 	高津 匡樹 馬谷原 琴枝	A-2 医学知識と問題対応能力
29		10.28	6	平常試験 1 解説	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解説により授業内容の理解度の確認及び習熟を図る。 	高津 匡樹 馬谷原 琴枝	A-2 医学知識と問題対応能力
30		10.28	7	平常試験 2 解説	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解説により授業内容の理解度の確認及び習熟を図る。 	高津 匡樹 馬谷原 琴枝	A-2 医学知識と問題対応能力

